

講演会「カメラに託した水への熱き思い」

…NPO 法人 海の森・山の森事務局 理事長 豊田直之氏の講演会…



生憎の天気で、かなり欠席者が出るのではないかと心配しましたが、午後になり雨も小降りとなったことも幸いしたのか、欠席者も一人きりで、飛び入り参加の方まで出て、参加人数は予定通り39人で進めることが出来たのは本当に良かったと胸を撫で下しました。講演の方は、始まる前にパソコンの遠隔操作コードの問題が起き、一時は慌てましたが、講師の先生が急遽家まで取りに戻っていただき、先生の意図するプロジェクターの操作ができるようになり、時間にも間に合いホッとしました。



講演は美しい、素晴らしい写真の実物とプロジェクターに映し出された数々を見ながら、その写真が撮られた裏側、すなわち撮った時の状況・季節、その時の苦労等も話に入れ込み説明していただいたのは、初めてのことで、写真を見る目が変わり本当に感激しました。そして本当に素晴らしい時間を過ごすことが出来ました。





講演後半には、プラスチックごみの問題、水質保全の問題について、講師の「水の輪廻(水の循環)」に対する思い入れを込めて話していただき、聴講の皆さんも各々に非常に感じるものがあったと思います。私も日常生活の中で襟を正すべきことが多いと感じた次第です。皆様も同じような感覚を持たれたのではないかと推察しています。

第二部 親睦会



懇親会の方順調に進み、歌まで飛び出し、また協会本部で「竹トンボの会」を主宰されている末松さんが参加者全員に「竹トンボ」のプレゼントをしていただき本当に良い記念の品物となりました。講師の先生には特別に「斜面をコトコト降りる人形」をいただき、大変喜んでみえました。この協会には色々な特技を持っている人が居られ会員の層の深さも感じさせられる一面もありました。

本部からは新理事長の湯藤哲さん、専務理事の田林巖樹さん、事務局長の細江諤夫さん、京葉会代表の佐久間征二さん等が駆けつけてこの講演会に花を添えていただき感謝しています。



以上のように、この講演会は始めから終わりまで感動と、和やかさに包まれながら終了できたことをBグループ一同大変喜んでいきます。この様に成功裏にみんなに感動を与え、終えることが出来たのも、神奈川会のWGのメンバーの皆様のご協力があったからこそ深く感謝いたしております。特に道案内の方々は雨の中、本当にご苦労様でした。ありがとうございました。

文章	奥村 進
写真	木村 一雄・富山 友次
編集	富山 友次